

競技場及び審判上の大会要項

- 1 ベンチは組み合わせ番号が若い方を一塁側とし、攻守はジャンケンとする。
- 2 試合は7回戦とし、90分を過ぎて新しいイニングに入らない。
ただし、学童2部は5回戦90分とする。
- 3 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差とする。ただし、学童2部はコールドを適用しない。
- 4 延長戦は行わず、7回終了時又は制限時間を過ぎて同点の場合は、タイゲームとして正式試合を打ち切り特別方法を適用し試合を続行する。特別方法は最大2イニングまでとし、勝敗が決着しない場合は最終出場選手9名によるジャンケンで勝敗を決する。
尚、決勝戦は2回までの延長を行う。

<特別方法>継続打順で、前回の最終打者を一塁走者とし、二塁、三塁の走者は順次前の打者とする。
すなわち、無死満塁の状態にして、得点の多いチームが勝ちとする。
勝敗が決しない場合は、更に継続打順で繰り返す。
- 5 降雨、日没等による正式試合の成立は4回完了時とする。また、それ以前はサスペンデッドゲームとする
- 6 選手登録に人数制限はないが、試合当日に出場できる選手は18名とする。なお、控え選手(最大9名)は忘れずに記入すること。
- 7 抗議のできるものは、監督と当該プレーヤーとする。(判定についての抗議は認められません)
- 8 監督はグラウンドに出てアドバイスができる。
タイムは1試合3回までとする。
- 9 ベンチ入りは監督、コーチ2名、代表者、スコアラー、引率責任者の6名とし、その際選手と同じ帽子を着用すること。
- 10 捕手はレガース、プロテクター、ヘルメットを着用すること。また、打者、次打者、走者は両側にイヤーフラップのついたヘルメットを着用すること。尚 コーチャーは任意とする。
- 11 グラウンドルールは審判長に従ってください。
- 12 原則として試合開始時間に集合しないチームは棄権扱いとする。
- 13 ボールは中等部男子・中等部女子は トップボールB球、学童の部はトップボールC球とし、それぞれ出し合いとする。ただし、中等部は準決勝以降、学童部は準々決勝以降の試合は大会が提供する。
- 14 審判は、その試合前後のチームが責任を持って行う。ただし、中等部は決勝戦、学童部は準々決勝以降の試合の審判は協会が行う。
- 15 学童の試合で協会の定めた日程中に消化できない場合は、そのチームを棄権扱いとする。
尚、原則的に学校行事及び市主催の大会以外は日程の変更を認めない。

《学童部ブロック予選について》

- ・ブロック長は大会で定められた日程期間中に予選を終了させるよう努める。
- ・ブロック長は試合結果をそのつど、担当役員に報告すること。
- ・各チームは学校行事及び市内大会の日程を事前に報告しブロックの大会運営に協力する。
- ・ブロックの審判はブロック長のチームを中心に各チームが協力しあう。